



8・9月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 財団法人 茨城県消防協会 編集発行人 消防協会長 大塚 光 印刷所 富士オフセット印刷(株) (1部 15円)

# 第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会開催

毎年恒例の消防ポンプ操法大会が、九月二十六日(土)の県央地区大会を皮切りに県内六地区で開催されました。今大会から新治地区と筑波地区が統合され、県南北部地区となったことにより、昨年度の七地区から協会支部と同様に六地区の大会となりました。

今年度は、来年度の全国大会の本県出場順番が「ポンプ車の部」であることから、各地区の「ポンプ車の部」優勝チームによる本県代表選考会が十一月に予定されているため、各地区とも例年になく訓練に励まれ、どのチームが優勝してもおかしくないような操法演技でした。

各チーム選手の間、大変お疲れ様でした。また、各地区大会の運営にあたり、市町村関係者の皆様、感謝申し上げます。各地区



9月27日 県北地区大会



今年度、新たに整備されたつくば市のポンプ操法専用会場

## 第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会結果

平成21年10月18日

地区名	日時	開催場所	出場チーム数	出場選手数	優勝チーム	総得点	所要時間		構成市町村数
							1線	2線	
県央	9/26(土) 9:00	茨城町長岡4068 茨城県立消防学校	8	48	笠間市(友部)	287.5	64	67	3市3町
			3	15	小美玉市玉里	144.0	47	—	水戸市
県北	9/27(日) 8:30	常陸大宮市辰ノ口下川原2074-20 おみや消防広場	8	48	ひたちなか市	322.0	56	80	7市1町1村
			8	40	大子町	171.5	43	—	常陸大宮市
鹿行	10/18(日) 9:00	神栖市平泉123 公設鹿島卸売市場駐車場	5	30	潮来市	313.0	64	77	5市
			5	25	行方市	161.0	50	—	神栖市
県南	10/18(日) 9:00	つくば市 つくば市北部工業団地内緑地	11	66	つくばみらい市	352.0	53	68	5市
			3	15	土浦市	153.0	51	—	つくば市
県南	10/18(日) 9:00	守谷市百合ヶ丘2-2712-1 貯瓶場跡地	5	30	取手市	331.5	55	64	5市3町1村
			8	40	守谷市	164.5	47	—	守谷市
県西	10/18(日) 9:00	古河市下大野2528 中央運動公園イベント広場	14	84	常総市石下	335.5	48	64	7市3町
			—	—	—	—	—	—	古河市
計			51	306					
			27	135					

注1 日時は、開会式の開始時刻を示す。注2 上段：ポンプ車 下段：小型ポンプ

## 茨城県 下妻市 総合防災訓練

茨城県と下妻市の総合防災訓練が八月二十九日(土)下妻市の茨城県西流域下水道事務所を会場に行われました。

この訓練は、九月一日の防災の日を前に災害時における迅速・的確な防災活動の構築を強化し、あわせて県民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図る目的で毎年実施されています。地元や近隣の消防本部を始め、陸上・航空自衛隊、気象台、警察機関、日本赤十字社、医師会、ライフライン関

係者、地元消防団、自主防災組織など九十四機関、約三千人が参加しました。今回の災害想定と訓練の重点項目は次のとおりです。《災害想定》 八月二十九日九時三十分下妻市付近を震源とする直下型地震が発生し、地震の規模はマグニチュード七・三、下妻市での震度は六強を観測した。この地震により市内の各所で家屋の倒壊や火災が発生し、多数の死傷者が出た。また、道路の損壊による交通機関を

始めとして、電気、電話、水道、ガスなどのライフラインに壊滅的な打撃を受けた。今後も強い余震が起る可能性があるがあり、引き続き嚴重な警戒が必要である。茨城県及び下妻市は災害対策本部を設置し、被災者の救助にあたることも、関係機関と協力して迅速・的確な応急対策を実施する。《重傷項目》

\*防災関係機関はもとより、地域住民、ボランティア、事業所等の参加を得て、相互に連携した実践的な訓練を実施し、防災意識の高揚及び防災行動力の向上を図る。

\*大災害に対処するため、他の地方公共団体はもとより関係機関等との緊密な連携のもと広域応援訓練を実施し、迅速・的確な応援体制の強化を図る。



自衛隊による道路復旧訓練



土砂埋没車両からの救出訓練

10mから50mモリタの梯子車  
モリタの技術と設備は20種類以上の消防防災、総ての車を造ります。  
完全水冷ラジエータ式、強制空冷式シバウラ小型消防ポンプ  
SFシリーズ、TFシリーズ独特の2本立で総ての機能をご用意しております。  
消防・防災用品全般、火の見櫓撤去・移設、ホスポール建立  
茨城県代理店  
**(有) 鈴 機**  
石岡市国府5-2-25  
TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846

**Panasonic**  
自動火災報知設備  
非常電源設備  
自家発電設備  
CVCF設備  
FAX、パソコン  
パナソニック株式会社 特機商品代理店  
**株式会社入江電機工業所**  
本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号  
TEL.029-224-4614 (代表)  
FAX.029-224-4613  
千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地  
TEL.029-241-3636 (代表)  
FAX.029-244-0540  
土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号  
TEL.029-821-8498 (代表)  
FAX.029-822-6575

**トーハツ 小型消防ポンプ**  
V75ESからV10Fまで  
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。  
消防ポンプ自動車 消防用ホース  
消火器 消防服装  
消防資機材用品一式  
茨城県代理店  
**トキワ産業株式会社**  
水戸市東原3-6-24  
TEL.029(224)3324(代)  
FAX.029(224)3360

# 第19回全国女性消防操法大会 「常陸大宮市女性消防団」が出場

平成二十一年十月二十二日、第十九回全国女性消防操法大会が横浜市消防訓練センターで開催されました。

この大会は日本消防協会が主催するもので、隔年毎(男子・女子交互)に全国四十七都道府県の女性消防隊が出場して、日頃の訓練の成果を披露し、全国一を競っているものです。

今大会からは、近年活動が注目され、本県においても年々増加している女性消防団員の出場が正式に認められ、本県からは、常陸大宮市女性消防団が出場し、訓練の成果を十分に発揮した見事な操法を披露しました。

選手の間が仕事や家事をこなしながら、長く厳しい訓練に励んでくれたことに敬意を表しますとともに、選手を支えてくれた職場やご家族、地域の方々や指導者にあたられた市当局の皆様へ深く感謝申し上げます。

そして、長い間本当にご苦



ポンプ操法開始!



見事な操法を披露



講義をする藤沼予防課長

近年住宅火災による死者数が増加傾向にあることから、消防法の一部が改正され、新築住宅は平成十八年六月一日から、既存住宅にあっては各市町村条例により、平成二十三年六月まで、すべての住宅で住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

しかし、平成二十年六月現在の設置率は、約三十五%程度と進んでいないため、消防庁は「住宅用火災警報器設置推進基本方針」を策定し、住宅用火災警報器の早期普及を国民的な運動として展開することになり、まず、基本方針に基づく推進体制として、消防本部または消防署単位に関係団体による「地方推進組織」が設置されることになりました。

それを受けて日本消防協会では、この組織の中で設置推進を指導し、中心的役割を担う消防団員を育成するために「住宅用火災警報器設置推進に関する消防団指導員研修会」の開催を各都道府県消防協会に要請し、当協会では参加消防団員の利便性を考慮して、県内六支部で研修会を実施することとし、六月から十一月にかけて計九ヶ所で開催されました。

## 住宅用火災警報器 設置推進に関する 消防団指導員研修会を開催

## 平成二十一年度 理事研修会を実施 北九州地方

今年度の理事研修会は、十月二十八日から三十日にかけて、北九州地方の熊本県と長崎県を襲撃する台風は、理事二十三名、県消防防災課一名、県立消防学校二名、事務局二名で視察しました。

熊本県では、阿蘇広域行政事務組合消防本部において「平成十七年七月の熊本県小国町・南小国町豪雨における被害状況と消防団及び自主防災組織の活動状況について」と題して、警防課長から配布された資料や画像により説明を受けました。

自主防災組織の活動が活発な地域であり、消防団との連携による大規模災害時の対応が大いに参考となりました。

長崎県では、島原市消防団本部において「平成十八年十月の雲仙岳山火災における被害状況と消防団の活動状況について」と題して、本田団長さんと梶山消防主任から説明を受けました。

この山林火災は、雲仙岳が火山警戒区域に指定されていたため、消火活動は県の防災ヘリコプターと自衛隊の大型ヘリコプターにより上空から

行われ、消防団員は主に地上における注水作業に従事したとのことでした。

また、平成三年六月に発生した雲仙岳の大規模火砕流についても説明を受け、この時は、火山噴火の警戒に当たっていた消防団員十二名を含む四十三名が犠牲になられたとのことでした。

その時の反省として語られた「島原市や警察、自衛隊、学術専門家、それに消防団等が皆で情報を共有し、それに基づき判断をすることが犠牲者を最小限に抑えることにな



説明をする本田団長さん (島原市消防団本部)



阿蘇広域消防本部での研修

る」という言葉は、今後の消防団活動に大いに参考になりました。

代町中央公民館で開催された県西支部の研修会について紹介します。

研修会には、県西支部管内の消防団、消防本部から団長さんをはじめ、消防長、消防団幹部等、総勢百名を超える参加者があり、講師を務められた茨城西南地方広域市町村



研修会風景

## 編集後記

「秋の日は釣瓶落とし」と言いますが、日暮れの間もどんどん速くなり、朝晩はめっきり寒くなりました。

新型インフルエンザの流行もまだまだ衰えを見せず、季節性インフルエンザの流行時期とも重なって、体調管理が大変ですが、皆さんの周りはいかがでしょうか。

これから年末年始に向け、消防の行事もまた続きますが、しっかりと休養をとり、もうひと頑張りしないといけませんね。

(な)